

渋谷ヒカリエ ヒカリエデッキで参加型アートイベント
「渋谷 to 森 ～渋谷に生き物の森を作ろう！～」を開催
植栽エリアを「小さな森」に見立て、長谷川仁氏とともに渋谷の生き物たちを描きます

東急株式会社

当社は、再開発が進む渋谷駅に直結し、東急文化会館のDNAを受け継ぐ高層複合施設「渋谷ヒカリエ」の北側に位置する「ヒカリエデッキ」において、新たな空間活用に挑戦する参加型アートイベント「渋谷 to 森 ～渋谷に生き物の森を作ろう！～」(以下、本企画)を2026年10月31日(土)から11月8日(日)まで開催します。

当社は、「公共的空間の中にも、自由な個人の表現が生かされる場をつくりたい」という思いのもと、2021年から「ヒカリエデッキ」の大規模な外壁を活用し、さまざまなアーティストによる壁面アート作品を公開するなど、多くの来街者にアートとの出会いを提供してきました。

今年度は、これまでの壁面展示から発展し、植栽エリアを活用したアート展示を実施するほか、来場者が作品づくりに参加できるワークショップを開催するなど、子どもから大人まで楽しめる体験型コンテンツを通じて、アートとの新たな接点を創出し、より身近にアートを楽しめる機会を提供します。

本企画は、都心と地方を行き来しながら、自然や社会とのつながりをテーマに活動するアーティスト・長谷川仁氏を迎え、「都市部での自然との共生」をテーマに開催するものです。「ヒカリエデッキ」の植栽エリアを「小さな森」に見立て、渋谷の街並みや、オシドリ、アブラコウモリ、タヌキ、ヒトなど、渋谷に生息するさまざまな生き物を描いたパネルを展示します。アートを通じて、都市の中に息づく自然や生き物との多様なつながりを感じることができます。

また会期中にはワークショップも開催します。長谷川氏や参加者が描いた生き物たちを乗せた小さな電車が森を巡ります。参加者はアクリルキーホルダーに思い思いの生き物を描き、電車に乗せて展示に参加するほか、他の参加者の作品と交換して持ち帰ることもでき、作品を通じた交流や新たな出会いを楽しめます。

なお、本企画は2026年11月2日(月)から11月8日(日)まで、渋谷芸術祭実行委員会が主催する「渋谷芸術祭2026」のプログラムの一部として開催されます。

本企画の詳細は別紙の通りです。



▲アート展示の様子



▲ワークショップ開催時には「小さな森」の中を列車が走行

以 上

【別紙】

■本企画概要

企画名:「渋谷 to 森 ～渋谷に生き物の森を作ろう!～」

会場:渋谷ヒカリエ「ヒカリエデッキ」4階

企画内容:アート展示、ワークショップ

アーティスト:長谷川仁

主催:東急株式会社

企画協力:株式会社アートフロントギャラリー

アクセス:東京都渋谷区渋谷2-21-1

東横線・田園都市線・東京メトロ半蔵門線・副都心線「渋谷」駅B5出口直結

JR線・京王井の頭線「渋谷」駅と2階連絡通路で直結

東京メトロ銀座線「渋谷」駅と1階で直結

※「ヒカリエデッキ」へは、アーバンコアエスカレーターにて4階から直接アクセスいただけます。あわせて、渋谷ヒカリエ4階から屋外へ出るルートもご利用いただけます。

■アート展示概要

開催日:2026年10月31日(土)～11月8日(日)10:00～18:00

■ワークショップ概要

企画名:「アーティストと一緒に、渋谷に生息する“生き物キーホルダー”を作ろう!」

開催日:2026年11月3日(火祝)・7日(土)・8日(日)13:00～16:00
(最終受付15:45)

参加費:100円

※参加費はアーティストを通じて自然環境保全活動へ寄付します

参加方法:当日現地にて参加申し込み、事前予約不要

備考:小雨決行、荒天中止



■長谷川仁氏からのメッセージ

身近な生き物とのつながりを感じながら日々を過ごしたいと思っています。私たちの身体は、食べ物を通して他の生き物を取り込むことでできています。そして死を迎えれば、身体は分解され土へと還っていきます。地球の表面では、さまざまな命が互いにつながり受け渡されながら、循環しています。この「命が巡っていく」イメージを生き物が連なる姿と重ね、おもちゃ電車に乗せて森の中を走らせることにしました。生き物が走り回り、命もまた巡っていく。その二つを重ねることで、普段は意識することのないさまざまな生き物とのつながりを感じてもらえたらと思っています。目には見えない命のつながりを感じることができれば、私たちが今ここで生きていることの意味もほんの少し見えてくるような気がします。



<長谷川仁氏 プロフィール>

1972年北海道生まれ。

社会学、プロダクトデザインを学んだ後アーティストとして活動始める。社会とのつながり、自然とのつながりを皆で分かち合いたいとの思いでアートワーク、ワークショップ、インスタレーション等を行う。全国各地でパブリックアートの設置、様々な芸術祭に参加。

■「ヒカリエデッキ」概要

「ヒカリエデッキ」は、渋谷ヒカリエの3階および4階に面し、宮益坂と並行して整備された歩行者デッキです。2030年度に開業予定である、渋谷駅の東西をつなぐ歩行者動線「スカイウェイ」の一部として、2021年7月15日に先行開業しました。歩行者デッキとしての使用に限らず、キッチンカーの出店やイベントスペースとして活用するほか、ムービングライトによる光と音の演出などにより賑わいを創出しています。加えて、季節を感じられる植栽やベンチなどを整備し、まちに開かれた憩いの場としてもご利用いただいています。



【参考】

■「渋谷芸術祭2026」概要

岡本太郎の作品「明日の神話」が渋谷駅へ恒久設置されることが決まったことを契機に2009年にスタートした「渋谷芸術祭」。日本を代表するメディア都市・渋谷の街全体をギャラリーと捉え、あらゆる空間をチャレンジする人たちに解放し「都市とアートの関係性」を模索します。

多様な人々がアートに触れ、アートを考え、アートを体験する機会を創出し都市と都市、人と人、過去と今、今と未来をアートで繋げる国際文化観光都市・渋谷が取り組む文化事業「渋谷芸術祭」です。

開催名称: 第18回渋谷芸術祭 2026 SHIBUYA ART SCRAMBLE

開催日程: 2026年11月2日(月)～11月8日(日)

会場: 渋谷ヒカリエ、渋谷区立宮下公園、Shibuya Sakura Stage、代々木公園BE STAGE、
その他渋谷駅周辺エリア

主催: 渋谷芸術祭実行委員会

共催: 渋谷区、一般財団法人渋谷区観光協会、一般社団法人渋谷未来デザイン

協賛: 東急株式会社、東急不動産株式会社、東急建設株式会社、三井不動産株式会社、
特定非営利活動法人明日の神話保全継承機構

以 上